

牧野富太郎—植物研究を志すきっかけになった出会いと学校教材—

楠瀬 雄三

牧野富太郎（1862-1957）は、2023 年度前期放送の NHK 朝の連続テレビ小説「らんまん」の主人公「槇野万太郎」のモデルになった人物で、高知県出身の植物学者です。富太郎は生涯にわたり研究に励み、植物分類学に大きな功績を残しました。

富太郎は幼いときに父と母を失い、兄弟もいなかったため、幼少期は近所の山へ行き、一人で遊んだといわれています。このころから植物が好きだった富太郎は、自叙伝で、植物を眺めていると寂しさを忘れたと述べています。特に、小学校の教材で、国産の果実や野菜をカラーで載せた「博物図」を富太郎は熱心に眺めたと言われています（写真 1）。この「博物図」は、教室の壁や黒板に掲げて授業に用いた大判の絵や図、表のことで、映写機などが普及していなかった明治初期に視覚教材として作られた「掛図」の一種です。



写真 1. 明治時代の「博物図」

（高知県立牧野植物園所蔵）

「博物図」には果物や野菜以外にも、獣類や鳥類、爬虫類、軟体類、鉱物類などが作られました。「博物図」の大きな特徴のひとつに、カラーであったことが挙げられます。当時、カラーの印刷物は希少だったでしょうから、大きくて色彩豊かな「博物図」は富太郎少年を魅了したのだと思われます。

ところで、幼少期より植物好きだった富太郎のことですから、自然と植物学の道に進み、研究者になったように思われるかもしれません。しかし、若いころの富太郎は植物は好きでし

たが、特に研究者になろうと思っていなかったようです。ある人物に会い、かけられた言葉がきっかけで植物研究の道へ進む決心をしたと述べています。

その人物は「日本の博物学の父」と呼ばれる田中芳男（1838-1916）です。ドラマ「らんまん」では、いとうせいこうが演じていた「里中芳生」のモデルとされています。田中には、富太郎が19才で上京した際、田中の職場である農商務省博物局を訪ねた際に面会しています。田中は富太郎を快く迎えてくれたようで、富太郎は土佐の植物を網羅した植物誌を作ろうとしていることを伝えます。田中は、日本に自生する植物にはまだ不明な種が多くあり、それを研究し、明らかにすることは日本の国益にとって非常に重要であるから大いに励むように、と話したといわれています。それまでの富太郎は、趣味のような感覚で植物を研究していたようですが、植物研究が国のためになるという田中の言葉を聞いて、自分も日本の役に立つことができることに意欲を燃やしたと述べています。

じつは、先に述べた「博物図」の作成にかかわっていたのが田中でした。牧野は「博物図」を作成した田中に会いに博物局を訪ねたのでした。田中と出会い、励ましがあったからこそ、富太郎は植物学の研究を一生の仕事として志したのです。

（くすのせ ゆうぞう 自然資料館専門員）

天王寺動物園で楽しく学ぼう！

市川 晴子

動物園に来れば、図鑑やインターネットではわからない、動物のにおいやさまざまな行動を知ることができ、「あれっ？」「なに？」という気付きや、疑問が浮かんでくることがあります。そのようなときに答えを導き出すのが、動物園の使命の一つでもあります。「ただ動物を見てもらうだけではなく、動物園に来たら何か一つでも知識や情報を持って帰っていただきたい」、そのような目的で、学校園等の皆さまからのご依頼に応じられるよう、天王寺動物園では、さまざまな講座を用意しています。お申込みの際は必ず次ページの注意事項をご確認ください。



図1. ズー・スクールの様子

（天王寺動物園 TENNOJI ZOO MUSEUM だいしん
ワクワクホールにて）

てんのうじどうぶつえん ディスカバー・プログラム

名称	内容	受入れ人数	所要時間	学校 (教育機関)	団体・施設	備考
ズー・スクール	動物園内の教室で、動物園の職員が各種のテーマで、スライドや動画を交えてお話しします。 ①動物のエサとウンチ ②動物園の歴史と役割 ③絶滅の危機にある動物たち ④生物多様性 ⑤戦時中の動物園 ⑥動物園の獣医さん ⑦オホカサマと地球温暖化 など	150名まで	10:00～12:15 13:15～16:30 (45分程度)	○	○	学校（教育機関）の場合、小学生以上が対象です。出張レクチャー(講話)も可能です。市外からご利用の場合は、交通費をご負担いただきます。
動物園 ガイドウォーク	動物園スタッフが園内を一緒に歩きながら、動物についての解説や動物園の見どころをお知らせします。	30名まで	10:00～12:15 13:15～15:00 (30分程度)	○	○	ズー・スクールとの組合せも実施可能です。（併用の場合90分程度）
動物園・職場紹介	飼育職員の仕事内容や、動物園の概要などを説明し、ご質問にお答えします。	150名まで	10:00～12:15 13:15～15:00 (45分程度)	○	—	
動物園飼育体験講座 (職業体験)	動物舎の清掃・エサ作り・給餌などを体験、生徒の皆さんのご質問にもお答えします。（中学校・高校の職業体験カリキュラムとして学校単位で受入れます）	6名/回	9:00～15:00 (6時間/日)	○	—	2日間の体験です。他校と混合になる場合があります。

表 1.てんのうじどうぶつえん ディスカバープログラム一覧

【注意事項】

・出張レクチャーを含めた天王寺動物園の教育普及プログラム「ディスカバー・プログラム」は、先着順で受け付けますので、ご希望の日程で実施させていただくことができない場合があります。希望日の2週間前までにお問合せください。ディスカバー・プログラムの実施は、土日祝および休園日を除く平日に限ります。

・大阪市内の学校・施設（団体）を優先しております。

・旅行会社や第三者からのお問合せおよびご予約はお断りします。お申込みをされる学校・施設から直接お電話ください。

・おからだの不自由な方等につきましては、個別にご相談させていただきます。

※詳しくは、天王寺動物園 飼育展示課（教育普及担当 TEL:06-6771-2151）までお問い合わせください。

（いちかわ はるこ 地方独立行政法人天王寺動物園獣医師）

Information

●自然資料館・申込不要の講座

加茂先生の折紙ワークショップ 『カモ』を折ろう（7月13日）

きしわだ自然資料館発行の冊子「折紙で
出会う陸と空のいきもの」などの著者でも
ある、加茂弘郎さんによる折紙教室です。
今年のテーマは「カモ」です。岸和田の池
や川にたくさんいるカモ（鴨）を折ってみ
ましょう。おとなだけの参加も大歓迎で
す。当日開始30分前より受け付けます。

日時：2024年7月13日（土曜日）

午後1時30分～午後4時

場所：自然資料館1階ホール

講師：加茂弘郎氏・田中國太郎氏
（日本折紙協会講師）

対象：手本を見ずに折り鶴が折れる方

参加：無料（2階・3階の見学は有料）

問い合わせ：きしわだ自然資料館

072-423-8100

●お気軽にどうぞ

電子顕微鏡・使いたい方大募集 （7月2日～8月20日）

株式会社日立ハイテクの社会活動の一環
で、今年もきしわだ自然資料館に電子顕微

鏡がやってきます。この電子顕微鏡は、学
校の先生の教材づくりや、児童・生徒の研
究のために使ってもらうことを主な目的と
してお借りするものです。この機会にぜ
ひ、ご活用ください。使用方法是難しくあ
りませんが、はじめての方には最初に当館
職員が説明します。安心してお申し込みく
ださい。

期間：2024年7月2日（火曜日）から

8月20日（火曜日）までの

午前10時から午後5時

※毎週月曜日・7月15日・16日・31

日・8月11日・13日は予約不可

場所：自然資料館1階ホール

申込：きしわだ自然資料館へメールでご連
絡ください。

sizen@city.kishiwada.osaka.jp

費用：無料



【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、
ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研
究等に関する情報、地域の自然環境や地誌に関する
面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿
ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、
右記までお送りください。電子メールでも受け付け
ています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5

きしわだ自然資料館

TEL:(072)423-8100

FAX:(072)423-8101

Email:sizen@city.kishiwada.osaka.jp

自然資料館ホームページ:

<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>

※お願い [fromM]は、学校教職員に1部ずつお配りください。

担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。